

びいあらいぶ Be Alive!

2014年 11月 2回号

発行元：パルシステム共済生活協同組合連合会
共済事業部『びいあらいぶ』編集委員会

パルシステムの保障

<http://www.palsystem-kyosai.coop/>

パルシステムの保障

検索

支えあいのかたち。

自分にとっての「介護」を考える

公的介護保険制度が施行されて14年。

月々の健康保険料と一緒に介護保険料も支払っていることは認識していても、
制度を利用することについては「まだ関係ない」と思っている方が多いのではないのでしょうか。

高齢化・核家族化が進んでいる日本。

日頃から「介護」を身近なことがらとして気にかけておく必要があります。

いま「介護」に直面したら

想像してみてください。自分の両親、さらには自分自身が「介護」の必要な状態になったとしたら——、実際に介護に従事できる人は周囲にどれくらいいますか？ 働きながら、子育てをしながら、毎日の介護にも向き合うのは大変なことです。そこで、上手に介護サービスを取り入れて、体力的・精神的な負担を減らすのが、介護生活のコツといわれています。

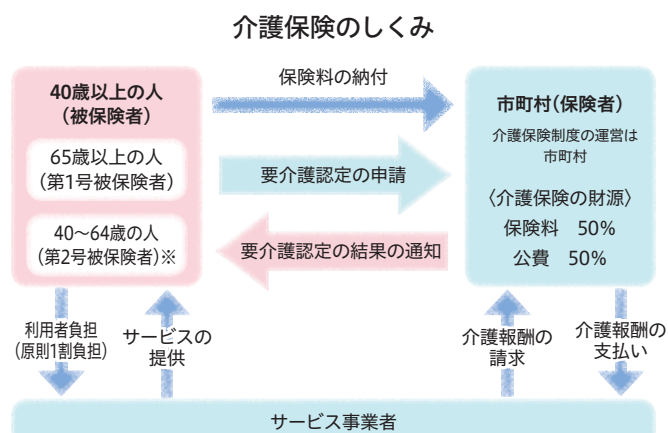
急増する国全体の介護費用

高齢者を個人ではなく社会全体で支えるという理念で作られた介護保険法。制度のスタート時(2000年度)は国の1年間の介護費用は3.6兆円でした。しかし、2013年度には9.4兆円(当初予算)と約2.5倍にも増えていて、今後も当面は減ることはないとの見通しが立っています。*

*平成25年・厚生労働省「公的介護保険制度の現状と今後の役割」より

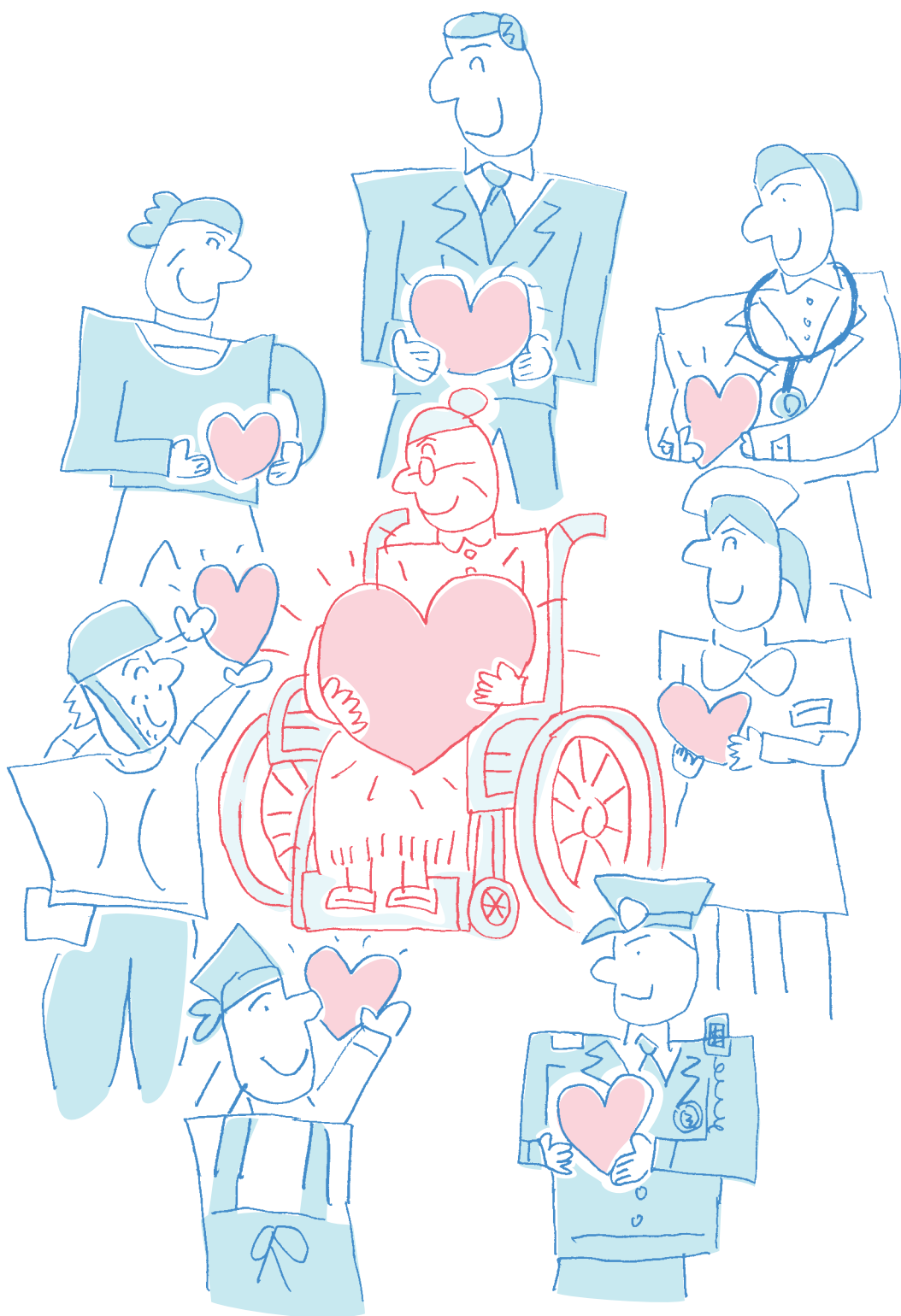
これからの公的介護保険制度

介護保険の制度はこれまでも何度か改正されてきましたが、これから先も利用者の増加などに伴い、利用基準や利用者負担率の見直しが行われると予想されています。その結果、自分の望む介護サービスが受けられない……というケースも出てきそうです。介護に直面したときに慌てないよう、早いうちから公的介護保険+aの備えも考えておきたいですね。



※第2号被保険者が会社員などの場合、健康保険料と共に介護保険料も徴収されています。

【CO・OP 共済ニュース】(CO・OP 共済に加入するには) 出資金をお支払いいただき、お近くの生協の組合員になることが必要です。生活協同組合(生協)は、お店や宅配などでくらしに貢献しています。



広がる パルシステムの介護サービス



プレゼントでつながる

CO・OP共済加入者とパルシステムの介護サービス利用者を、小さくて可愛い「プレゼント」がつないでいること、ご存知ですか？

ありがとうございます！
大切に使いまわすね！



パーツごとに担当者を決めて分担作業で作りました。



紙の色や柄の組み合わせも作る方が考えています。

CO・OP共済加入者へプレゼント

パルシステム共済連では、CO・OP共済《たすけあい》の満期を迎えられた方へアンケートをお送りし、ご希望の方に心温まる手づくりの品をプレゼントしています。じつはこのプレゼント、パルシステムが運営するデイサービスセンター（昼間に日帰りで介護サービスをうけられる施設）へ通う高齢者の方々が一つずつ手作りして下さった品。プレゼントの内容はアクリルタワシやしおり、ブローチなどさまざまです。プレゼントの制作は年度ごとにパルシステム共済連からデイサービスセンターへ依頼。これまで、パルシステム東京「陽だまり」やパルシステム神奈川ゆめコープが運営する「ぬくもり」のデイサービスセンターが担当しました。

プレゼント作りが励みに

デイサービスセンターではレクリエーションとして手芸や工作をすることがありますが、このプレゼント制作については「できあがった品を待っている人がいる」ということが励みになり、作る方々が創意工夫し作業を分担しながら、物によっては1000個以上も作って下さいました。さらに、プレゼントを受け取った方から寄せられた感想や感謝の声は、プリントにまとめてプレゼント作りを担当して下さったセンターへお届け。それを読んだデイサービス利用者の方々は、自分たちの作った品が喜んでもらえていると分かり、よりいっそうプレゼント作りが楽しみになっているそうです。パルシステム共済連では、このような形で、CO・OP共済に加入されている方とデイサービスセンターを利用している要介護の方との交流を進めています。

喜んでもらえると
作りがいがあるわ！

パルシステムでは福祉事業の一環として、さまざまな介護サービスの提供を行っています。また、あまり知られていませんが、CO・OP共済加入者とパルシステムの介護サービスを利用されている方々をつなぐ取り組みもあります。パルシステムの「介護」への取り組みをご紹介します。

お願いしていた数を作り上げてくださったセンターの利用者のみなさんへは、パルシステム共済連から感謝状をお贈りしました。



利用者のみなさんとテーブルを囲み、どんどん作り進めていきます。作業に慣れてくると作るスピードもアップ。あまりに仕上がりが早くて、用意していた材料が足りなくなり、職員が慌てる一幕も。



プレゼント作り 大人気でした！

2013年度にプレゼント作りを担当して下さった、パルシステム東京のデイサービスセンター「中野陽だまり」のセンター長に、そのときの様子についてうかがいました。



デイサービスセンター
中野陽だまり
金衛陽子センター長

中野陽だまりでは、しおりやバラのマグネットなどを作りました。たとえばバラのマグネットは、「布を切る」「布でバラの花びらを作る」「バラをマグネットに貼りつける」というふう作業分担を決めて、体の状態や得意なことを考えて担当作業を割り振り。男性のご利用者さんも真剣に黙々と作業をして下さるんですよ。作業は、帰りの送迎バスの待ち時間などをお願いしました。送迎バスを待つ時間というのは、どんどん周囲から人が減っていくので利用者さんが不安になりがちなのですが、集中して取り組む作業があると不安になることなく過ごせるようです。また、決められた数のプレゼントを作

り上げたお礼として、握り寿司の出張屋台に来てもらい食事を開きました。目の前で好みのネタを握ってもらえるとあって、普段は食の細い方も大喜びで(笑) この取り組み、高齢者の方々が「自分たちの作った品が喜んでもらえ、役に立っている」と感じられているのがよく分かりました。これからもどんどん続けていきたいです。

